

## 2024年度 小地域懇談会実施結果

小地域懇談会は、集落ごとに集まって、身近な社会問題を共に考える場です。各地区の区長、会長、協力員の皆様には会の設定、招集、運営等にご協力いただきありがとうございました。今後とも、なるべくたくさんのご参加をよろしくお願いいたします。

視聴した DVD		災害から一人の命も取り残さないために 要配慮者の備えと避難行動	
<p>地震や水害などが発生した時、避難したくても一人では動きづらかったり動けない人や、情報の入手すら困難な人、すなわち要配慮者と呼ばれる方々の命を守るために、日頃からどう備え、どう行動すれば良いのか。要配慮者自身に求められることは何か、また地域の人たちにできることは何かを、自助・共助の両面から具体的な方策を提示しながら考える。</p>			
地区	実施日	参加人数	話し合いの内容や感想（一部抜粋）
長 砂	7月13日	10名／13世帯	<p>○災害に備えて、まず自助の実行を大切にする。チェックリストで確認することがよいと個人的には考える。</p> <p>○共助という点では、しっかり組織化されていないが、まずは近所同士で声を掛け合うことが大切ではないか。</p> <p>○村の中でのコミュニケーション、交流が大切。行事参加の声掛けなど、普段からのつながりが必要。近所で様子見のいる方への声掛け、見守りなど、気にかけてもらいたい。</p> <p>○一人住まいの方への対応は、隣近所で声を掛けて一緒に避難をする。</p> <p>○支え合いマップの作成は大切ではあるが、個人情報との関わりで難しい面もある。</p> <p>○要支援の方の現状を把握しておく。また、それ以外の方で支援を必要とされている方がいないかを確認する。</p> <p>○要配慮者の居所、災害発生時の介助等について、町内会が認識・検討しておく必要がある。</p> <p>○担当のケアマネジャーにアドバイスをもらえるよう登録者から声掛けしてほしい。</p> <p>○防災マップを作っても課題は山積みだとは思いますが、大切な一歩を踏み出すチャンスを与えていただき、ありがたいと感じた。</p>
古郡家	8月24日	16名／27世帯	
雲山中央	9月 8日	24名／130世帯	
雲山南	10月13日	28名／362世帯	
美 和	10月18日	9名／28世帯	
越 路	10月19日	8名／43世帯	
東雲山	10月20日	21名／164世帯	
東大路	11月 8日	10名／43世帯	
西大路	11月10日	13名／20世帯	
中大路	11月16日	10名／35世帯	
久 末	12月 8日	12名／35世帯	



雲山南地区の様子

### カタカナ表現の人権用語

カタカナ表現は最近よく使われるので、例を参考に意味を理解しておきましょう。

#### 1 ステレオタイプ

多くの人に広まっている固定観念や思い込みのこと。  
(例)「血液型が A 型の人はいくらも」「ピンクは女の子、青は男の子」

#### 2 ハラスメント

相手を不快にさせたり不利益を与えたりするなど、肉体的・精神的な苦痛を与え、人間としての尊厳を侵害する行為の総称。  
(例) セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント

#### 3 マイクロアグレッション

相手を差別したり、傷つけたりする意図がないのに、相手の心に影をおとす発言をしてしまうこと。悪気がなくても傷つけることがある。  
(例)「女性なのに出世してすごい!」「高齢なのに SNS に詳しいなんて!」